

# 2013年 ハケ岳自然クラブ総会

2013年4月2日(火)  
山梨県立ハケ岳自然ふれあいセンター

# 式次第

- 開会の辞
- 代表挨拶
- キープ協会 挨拶
- 議長選出
- 議案
  1. 2012年度役員途中交代、承認の件
  2. 2012年度活動報告、承認の件
  3. 2012年度会計報告・監査報告、承認の件
  4. 2013年度役員(案)、承認の件
  5. 2013年度活動方針・計画(案)、承認の件
  6. 2013年度予算計画(案)、承認の件
  7. その他
  8. 全般質疑応答
- 議長解任
- 閉会の辞

# 2012年度活動報告

- ・ 自然観察会・ハイキング ..... 16回  
（内 森林環境教育推進事業としてハケ岳自然講座 5回）
- ・ 新年昼食会 ..... 1回
- ・ 講演会「ニホンミツバチと暮らす四季」 ..... 1回
- ・ 講演「不思議な羽のしくみ」と羽のしおり作り.. 1回
- ・ 写真展 9月19日～10月1日 ..... 12日間

出品者 20名 写真 54点 各グループ活動の紹介

- ・ フクロウグループ (11月～6月)
- ・ 山野草グループ (3月～10月)
- ・ シカグループ (12月～3月)
- ・ ハイキンググループ (4月～3月)

# 2012年度自然観察会(16回)

- **野鳥・昆虫観察** ..... 3回  
(野辺山、オオムラサキセンター)
- **植物観察** ..... 5回  
(八ヶ岳、美し森、材木尾根、観音平きのこ、飛沢)
- **ハイキング・登山** ..... 5回  
(新府、飯盛山、茂来山、縞枯山、瑞牆山)
- **スノーシュー** ..... 1回  
(入笠山)
- **自然・歴史散策** ..... 2回  
(武川、津金)

# 2012 年度ハケ岳自然講座

## 森林環境教育推進事業実績

下記事業は主催:ハケ岳自然クラブ 共催:山梨県森林インストラクター会で  
一般に公募して実施した。

| 実施日と活動内容               | 参加人員 |
|------------------------|------|
| 6月14日(木) 野鳥観察 野辺山      | 20名  |
| 7月28日(土) 山野草観察 美し森     | 15名  |
| 9月08日(土) 樹木・山野草観察 材木尾根 | 26名  |
| 10月11日(木) きのこ観察 観音平    | 22名  |
| 10月22日(月) 登山 瑞牆山       | 22名  |
| 合計参加人員                 | 105名 |

上記事業に対し山梨県森林インストラクター会(緑化推進機構から受託)  
からの助成金を得て実施。

# 2012年度 フクロウグループ 活動報告

## ① 巣箱観察8年目

- ・有刺鉄板、センサーcameraの設置など新たな試みを実施
- ・給餌、巣立ちの瞬間、テンの侵入などの映像が撮れた
- ・15羽のヒナの巣立ちを確認

## ② 営巣巣箱の巣材分析(麻布大学野生動物研究室との協力)

## ③ 観察記録のグループ内公開

- ・観察記録と観察巣箱写真、動画URLで閲覧できる

## ④ グループニュースの発行

- ・No.44～No.49 6回発行した

## ⑤ 秋の巣箱点検

## ⑥ 「2011年・2012年ハケ岳南麓フクロウの観察記録(DVD付き)」 の発行準備

# 巣箱の巣材分析

## ■ 麻布大学野生動物研究室との協力

| 巣箱内遺留物の内訳 |       |       |    |     | 分析: 麻布大学 落合茉里奈          |
|-----------|-------|-------|----|-----|-------------------------|
| 巣箱番号      | アカネズミ | ハタネズミ | リス | ヒミズ | その他                     |
| K1        | 47(3) | 2     | 0  | 0   | カワラヒワ<br>ツグミ            |
| K2        | 26    | 6     | 0  | 0   | カワラヒワと思われる羽             |
| K3        | 31    | 0     | 3  | 2   | ヒヨドリ<br>キジバト<br>メジロ     |
| K4        | 34(3) | 5     | 0  | 10  |                         |
| O2        | 31(1) | 10    | 0  | 0   | カケス<br>メジロ<br>ヤマネのような尻尾 |
| O7        | 24(2) | 12    | 0  | 0   |                         |
| O9        | 39    | 9     |    | 8   | カワラヒワ<br>カケス<br>ヒミズ 8個体 |
| O9巣の下     | 1     | 1     | 0  | 2   | ヒミズ 2個体分                |
| O11       | 40(4) | 3     | 0  | 7   | コゲラ                     |
| T2        | 分析中   | 分析中   | 0  | 0   | ゴジュウカラ<br>カワラヒワ<br>アオゲラ |

## ⑥「ハケ岳南麓フクロウの観察記録」の発行



# 2012年度山野草グループ活動報告

## 1. 本年度メンバー:32名

(リーダー佐藤久江、サブリーダー坂本房江・坂元みき子)

## 2. 定点観察

### ①オオムラサキセンター自然観察路

期間 2012年3月21日～10月17日の全16回

参加人数 延参加人数235名 平均参加人数 14.7名

成果 開花確認数 2011年 263種 2012年 298種

観察記録は2年分をまとめ309種記載 花期は最長とした

### ②大平県有造林地

期間 2012年5月2日～10月16日までの6回

参加人数 延参加人数 69名 平均参加人数 11.3名

成果 開花確認数 215種 新たにヤマサギソウ、モリアザミを確認

サクラソウ、ケブカツルカコソウの株数調査は行わなかったが年々増加

## 3. オキナグサ保護活動

4月25日 県営ハケ岳牧場上の県有林内に、オキナグサをシカの食害から守るための保護策を設置 参加人数21名

## 4. 定点外観察

①5月23日(水) オキナグサの観察 参加人数16名

②8月29日(水) 夜叉神峠の植物 参加人数19名

ヒナノウスツボ、ヤマホロシ、セキヤノアキチヨウジ、マネキグサ

2011~2012年 オオムラサキセンター 観察記録 山野草グループ

# シカ・グループ報告 2012年の活動

ハケ岳牧場周辺におけるシカ・ライトセンサス

2012年12月～2013年3月…12回実施

調査結果は次ページ

シカ関係会議の出席

・関東山地ニホンジカ対策広域連携説明会

2012年10月31日(韮崎市・峡北総合庁舎)

出席：吉柳俊孝・渡辺富好・斎藤一紀

・野生鳥獣シンポジウム

2013年1月19日(笛吹市・スコーレ石和) 出席：吉柳俊孝・安本雅昭

シカ囲いワナ実証実験

県営ハケ岳牧場の2か所にシカ捕獲用の囲いワナ設置し、誘引餌を散布してシカの食餌状況を観察する(山梨県森林環境部みどり自然課より吉柳が受託)

2012年12月10日～2013年2月14日 19回 (週2回を目途)

# 調査のまとめ

- ・YSCの10年間の調査では、観察頭数の増加、集団の大型化がみられる県などの目標である適正規模(標高1,000m以下1~2頭／km<sup>2</sup>、1,000m以上2~4頭／km<sup>2</sup>)をはるかに超える生息数である
- ・2012年度は前年比べ観察頭数はやや減少しているが、天候(降雪)の影響、狩猟の状況も考えられる
- ・12月と1月に観察頭数が多く、2・3月には減ずる傾向がみられる。これは天候、狩猟との関係、シカの季節移動などがあるかもしれない
- ・2011年から調査地の県営ハケ岳牧場で、シカの侵入に対する防護策として、牧柵のメッシュ化、外周の嵩上げを行った結果、2012年度にはBブロックでの出現数が激減している

# YSCの今後の取組み

- ・10年間の調査の蓄積でおおむねの傾向がつかめたとみられる。調査を継続する積極的な意義は認められないこと
- ・冬季・夜間の調査で調査員の確保が難しくなっている
- ・調査地域の大半を占める県営牧場では、2011年度からシカの防御対策として、外周の牧柵をメッシュ仕様で約2mに嵩上げを行い一定の成果を得ている
- ・1週間の連續ライトセンサスや糞塊調査、高山帯の高山植物への食害調査などは、趣味のサークルとしてのYSCの活動として取組み難い

2012年度で調査を打ち切り、シカGの活動を終結させる

# シカの生息状況

- ・ 山梨県は、第2次野生鳥獣保護管理計画や、平成24年度ニホンジカ実施計画で秩父・ハケ岳周辺のシカの生息数を、中間値で14, 385頭(最大値23, 642、下限値5, 129)としている。この数値は、適正規模(標高1,000m以上の自然保護区では2~4頭／1km<sup>2</sup>)をはるかに上回る数とされている。

この間、狩猟期間の延長や捕獲数制限の撤廃、管理捕獲の強化などにより、捕獲数は年平均5, 000頭前後に拡大したが、適正規模には至っていない。

山梨県の調査では、2歳以上の♀の妊娠率は75. 4%と高いことが確認されている。

また、観音平付近で♀シカに装着した無線機の調査では、3月頃から移動が始まり、長野県富士見町・原村を経由し、茅野市須栗平・蓼科山付近に移動している。

環境省の調査では、長野県川上村で無線機を装着した♂の個体(複数)は、秩父山塊を越え、茅ヶ岳西方や雲取山南方に移動が確認されるなど、積雪期には秩父山塊を越え移動している。

- ・ 今後の見通し

ハケ岳南麓でも、樹木への皮剥ぎや幼樹の被害、牧場の牧草の被害など、シカによる食害が報告されている。被害が大きい奥多摩～秩父山塊では、植生の喪失による土砂流失などもひろがっている。ハケ岳地域でもシカの増加が止まらなければ、いっそうの被害拡大が予想される。

# 2012年度ハイキンググループ活動報告

## 1. メンバー12名

リーダー 安本雅昭

メンバー 青木興家、青木房江、大石 彰、五十嵐登美子、坂本鋼治、坂本房江  
俵 一雄、安本みどり、残間喜代子、藪田剛由、中野由美子

## 2. 活動内容

①観察会ハイキングの立案・下見・実施

②リーダー・サブリーダーの育成

4月8日 太刀岡山～黒富士～曲岳 下見

4月16日 新府桃の里 下見

4月23日 新府桃の里ハイキング 参加者19名

5月11日 横尾山～飯盛山 下見

5月19日 茂来山 下見

5月22日 飯盛山からの稜線ハイキング 参加者23名

6月18日 鞍掛山 研修

6月25～26日 八ヶ岳登山(硫黄岳、横岳) 参加者24名

7月3日 茂来山ハイキング 参加者24名

## 活動内容－2

- 9月20日 縞枯山 下見
- 9月25日 縞枯山ハイキング 参加者30名
- 10月9日 瑞牆山・不動沢 下見
- 10月22日 瑞牆山・不動沢登山 参加者22名
- 12月7～8日 カンマンボロン 研修・納会
- 2月3日 湯川渓谷 下見

参加者合計 142名

- 自然観察ハイキング 6回
- ハイキンググループ下見 7回
- 研修登山 2回

# 2013年度 活動方針案

- ・ **自然観察会**  
自然への理解を深め、会員相互の親睦を図る
- ・ **調査・環境保全活動**  
グループ活動(フクロウ・山野草・ハイキング)を継続し、充実を図る
- ・ **山梨県森林インストラクター会 の助成事業に参加**

# 2013年度活動計画案

- ・自然観察会 月1～2回の実施
- ・山梨県森林インストラクター会の助成事業に参加するためハケ岳自然講座を実施
- ・調査・環境保全活動(各グループ活動)を継続
- ・講演会の実施
- ・会員によるハケ岳自然写真展を開催

# 2013年度 フクロウグループ 活動計画案

- ① 9年目に入る巣箱観察の継続
  - ・ヒナの巣立ちをきちんと確認する
  - ・必要に応じて動物被害対策を追加する
  - ・センサーカメラ(6台)による巣箱調査の継続
- ② 観察記録の作成とグループ内公開
- ③ 営巣巣箱の巣材回収
  - ・共同研究が引き続き行われる場合は、巣材を提供する
- ④ 広報体制の充実
  - ・YSGホームページに巣立ち雛累計等の活動実績を追記
- ⑤ 他のフクロウ観察組織との交流
- ⑥ グループ委員の補充

# 2013年度山野草グループ活動計画案

1. 本年度メンバー 31名  
リーダー佐藤久江、サブリーダー坂本房江・坂元みき子
2. 活動方針
  - ①観察活動

大平県有造林地  
4月24日(水)～10月16日(水) 6回

定点外観察  
4月3日(水)～10月23日(水) 7回
  - ②保護活動

オキナグサの保護柵設置 5月9日(木)

サクラソウ・ケブカツルカコソウの保護を継続

観察地におけるゴミ拾い継続

# 2013年度ハイキンググループ活動計画案

## 1 活動内容：

- ①ハイキング計画の提案実施(月1回程度)
- ②計画実施のための下見活動
- ③安全確保のためのガイド研修
- ④メンバーの新規募集

## 2 実施計画案

新府桃の里、霧ヶ峰、飯盛山、北八ヶ岳池巡り、十文字峠  
御陵(おみはか)山、御座(おぐら)山、高登谷山、美ヶ原など